

史跡 御所野遺跡

(読み方) しせき ごしょのいせき

(英語) Goshono Site

【所在地】

岩手県一戸町岩館

【年代】

紀元前 2,500 年～紀元前 2,000 年 (約 4,500～4,000 年前)

【キャッチコピー】

墓域と祭祀場を中心とした拠点集落

【説明文：99字】

馬淵川沿いの段丘上に立地する拠点集落。台地中央に墓や祭祀場である盛土があり、その周囲に居住域が広がる。遺跡からは土器や石器、土偶、動物骨、堅果類などが出土し、河川流域における生業と精神文化を伝える。

【説明文：145字】

馬淵川沿いの段丘上に立地する拠点集落。東西に長い台地の中央に配石遺構を伴う墓域、祭祀場である盛土が形成され、その周囲に大型・中型・小型の竪穴建物が配置されている。祭祀場である盛土からは大量の土器や石器とともに、焼けた動物骨や堅果類などが出土し、火を用いた祭祀が繰り返し行われたことを伝える。

【説明文：248字】

馬淵川沿いの段丘上に立地する拠点集落。東西に長い台地の中央に墓域と祭祀場である盛土が形成され、その東西に大・中・小の竪穴建物や貯蔵穴からなる居住域が広がる。墓域は、複数の石を組んだ配石遺構が環状に分布し、その外側に掘立柱建物が配置される。盛土からは、大量の土器や石器とともに、焼けたシカ・イノシシなどの動物骨、クリ・トチノミなどの堅果類、土偶、土製品、石製品などの祭祀的な遺物が出土し、火を用いた祭祀が繰り返し行われたことを示している。内陸の河川流域における生業と精神文化を示す重要な遺跡である。